

ふたりをへダテ、
ツナグもの——
すこし不思議な、
ふたりといちまい
暮らし。

あいのあいだに

Between
Love

Between
Wall

前篇

「月!スピ」発!!
次世代新鋭作家鋭切!!
新魂
!!!!!!
第1弾

新コミ出身の新星挑む
煌めき客れる 32P!

寺山マル
Torayama Maru

舞台はとある一軒家

イメージしてた物とは
違う結果になってしまう
ことである。

久しぶりー
元気？

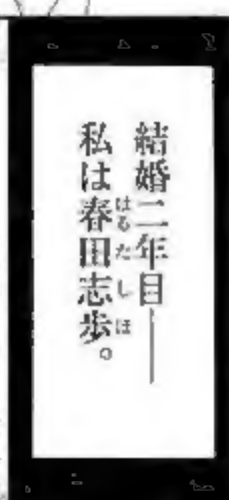
あ、お母さん。

RRRR

うっ。

マズく!!

うん、
うん。



カベ一枚
隔てた、



会・話・の・ない・
夫・婦・だ・か・ら・で・す・。





同じ家に
住んでいながら
丸一年言葉を
交わしていません。

私達は――

まあ……
夫婦生活って
諦めの連続だと
言いますが……



愛し合って
結婚したのに
そんなの悲しい
じゃありませんか。

だから、
妥協せずに
頑張ろうと
思ったのに――



ね――

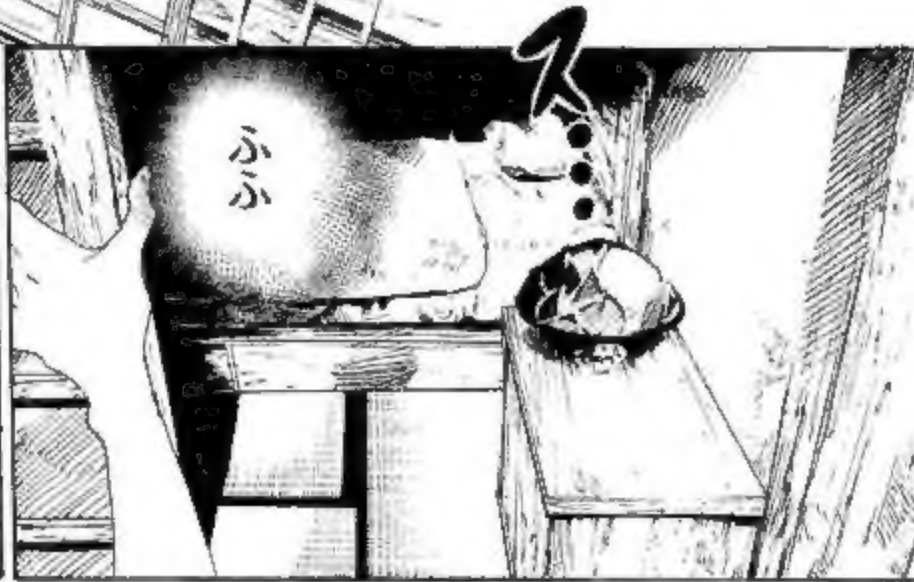
なんでこうなったのでしょうか……







壁から…声…？



最初は何かの
聞き間違いかと
思ったけど――

ア――

ア――

ふふ

その声は徐々に
大きくなり、

ね――

中耳炎とか？
私、耳弱かったつけ。
もしかして
幻聴……

夜になっても
続いている――

ふふ

あー、
うるさい。

……



でも
楽しそう
だね。



幼稚園の前を
通ると
こういう声
聞こえるよ。

聞こえてたの？

うん。

なんて
黙ってたの!?

だって――

え？









カ・ベ・が
喋るからよ!!

どうせ
何を言っても
通じないのよ。



シホが
好きな物でいいよ。



「適当なところが家で、
その頃は、」

優しさに
見えた。



だけど

お風呂入らないで、
またベッドで
寝たでしょ？



カバー替えても、
ベッドに匂いが
ついちゃうのについ



あとさ、なんで
リビングのソファで
買ってきちゃったの？
テイスト
合っていないし。



一緒にお店まわって
決めたかったのに！



それに、また
町内会の役員勝手に
引き受けたでしょ？
断るって言ったじゃん！

ジローは仕事だし、結局
私がやるんだからージローが
断らないのを知ってて、
頼んでくるんだからー





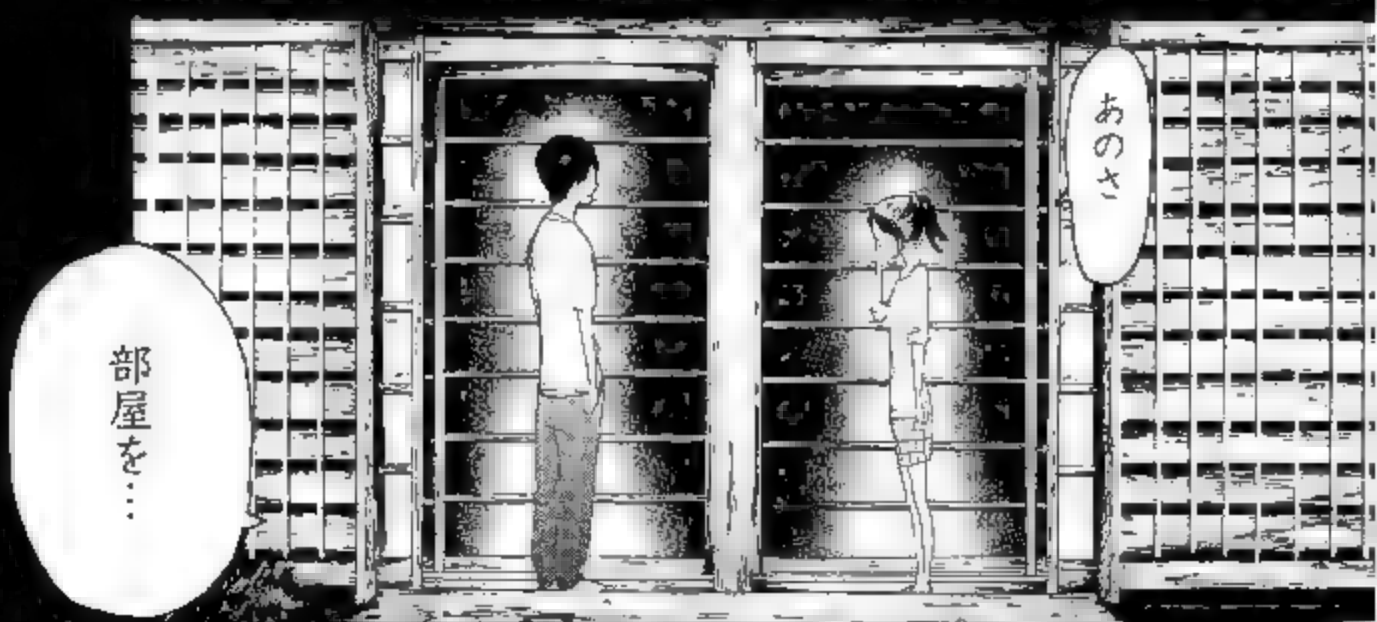
別にいいかな、
と
思
っ
て。

ごめん。



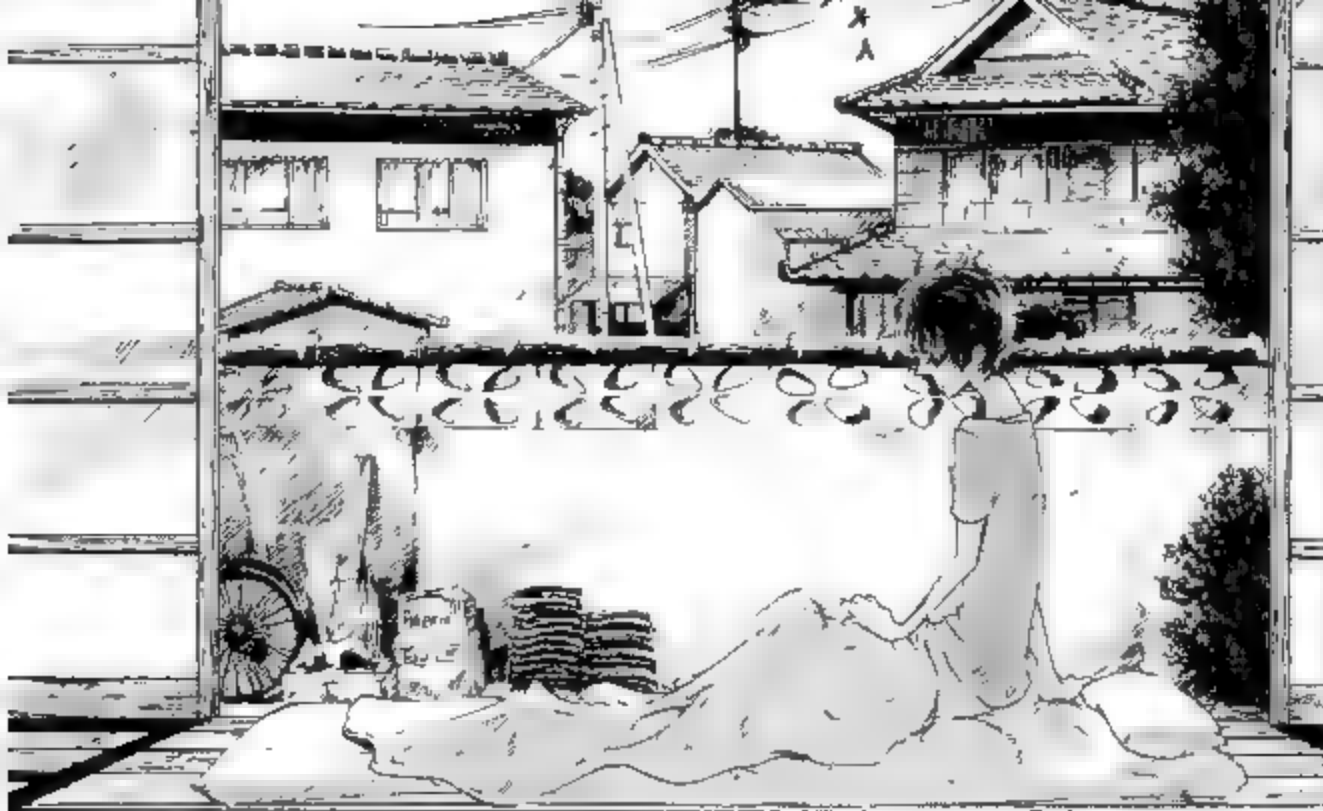
私はっ…

嫌
な
の
!!



部屋を…

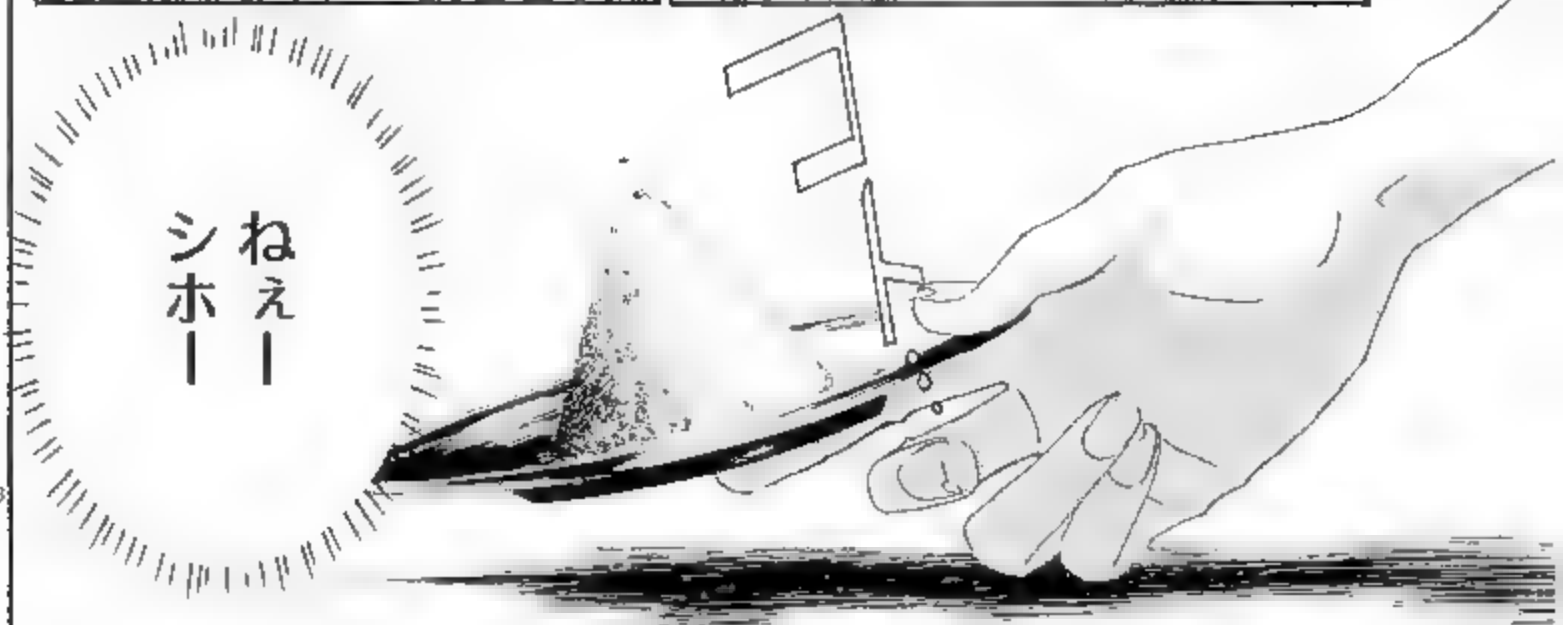
あのさ





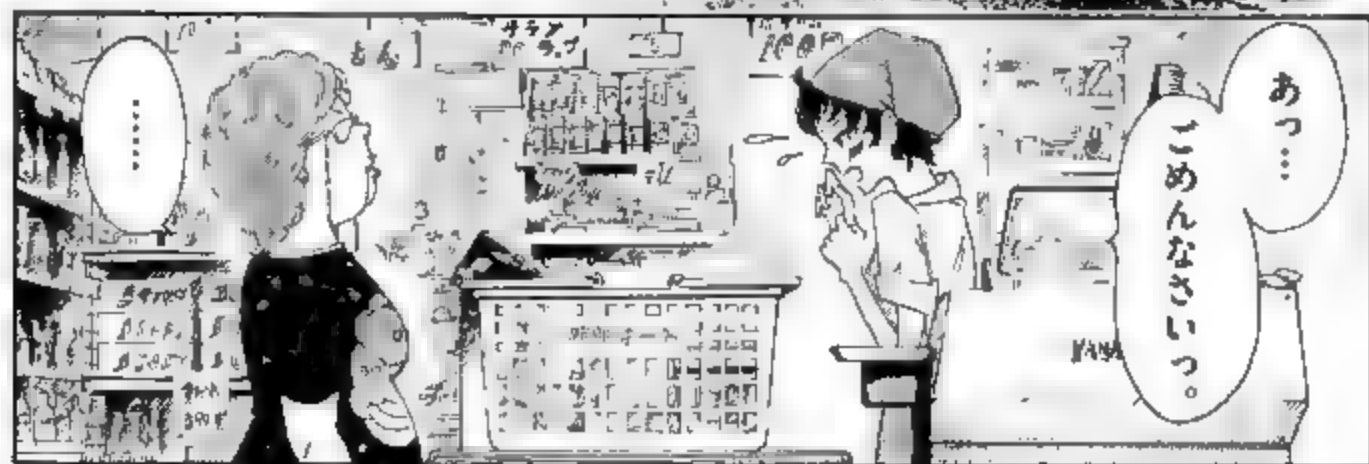
私とジローの
部屋を隔てる、

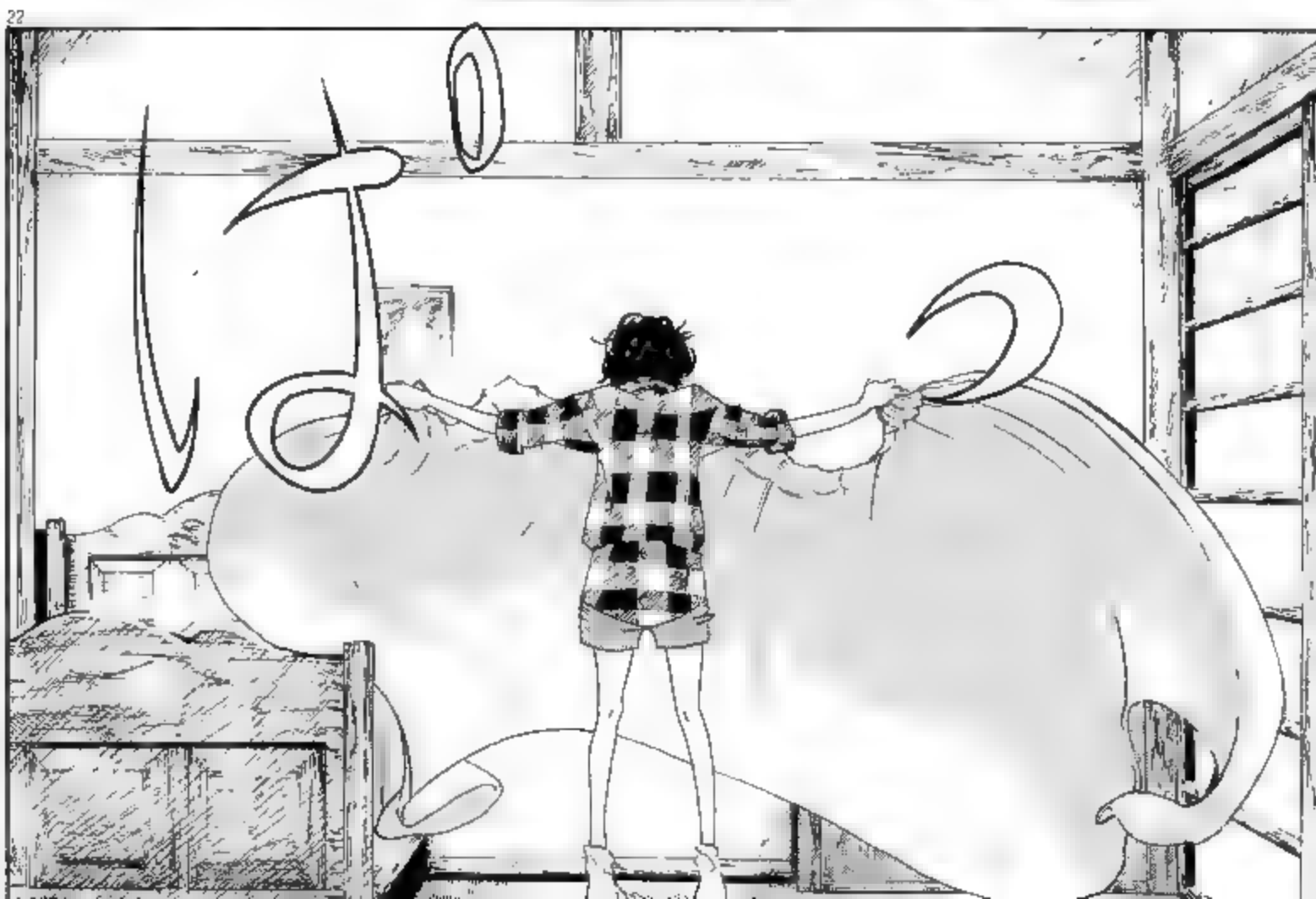
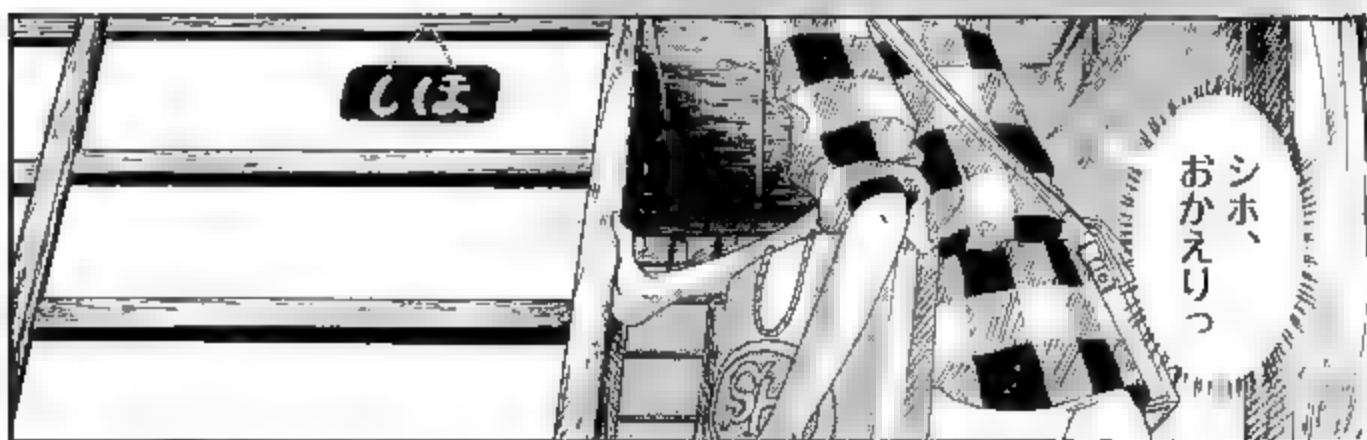
この壁だけが
喋るらしい…





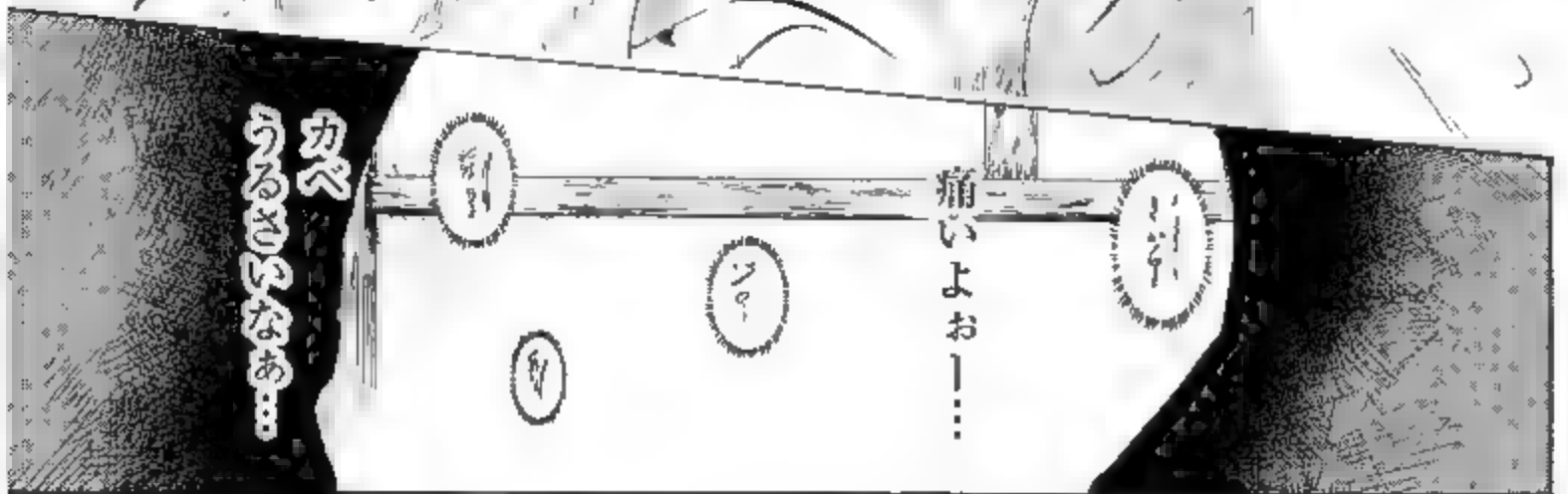








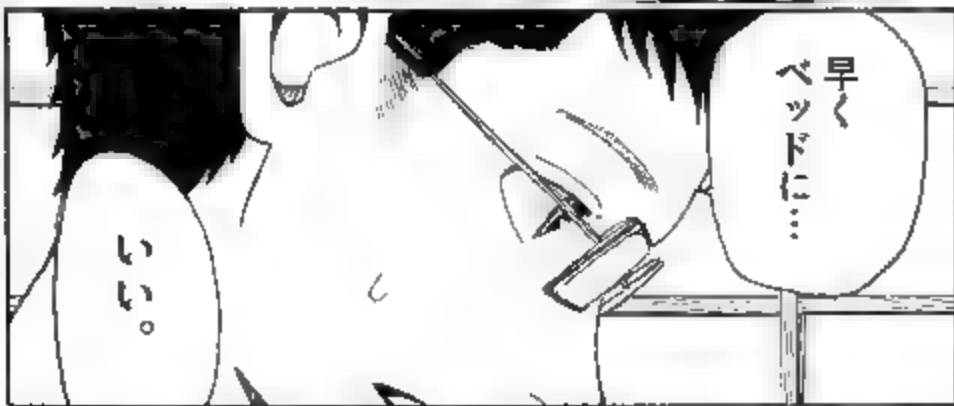




こんな面倒な思いをしてまで、
私は
どうしたいんだろう――









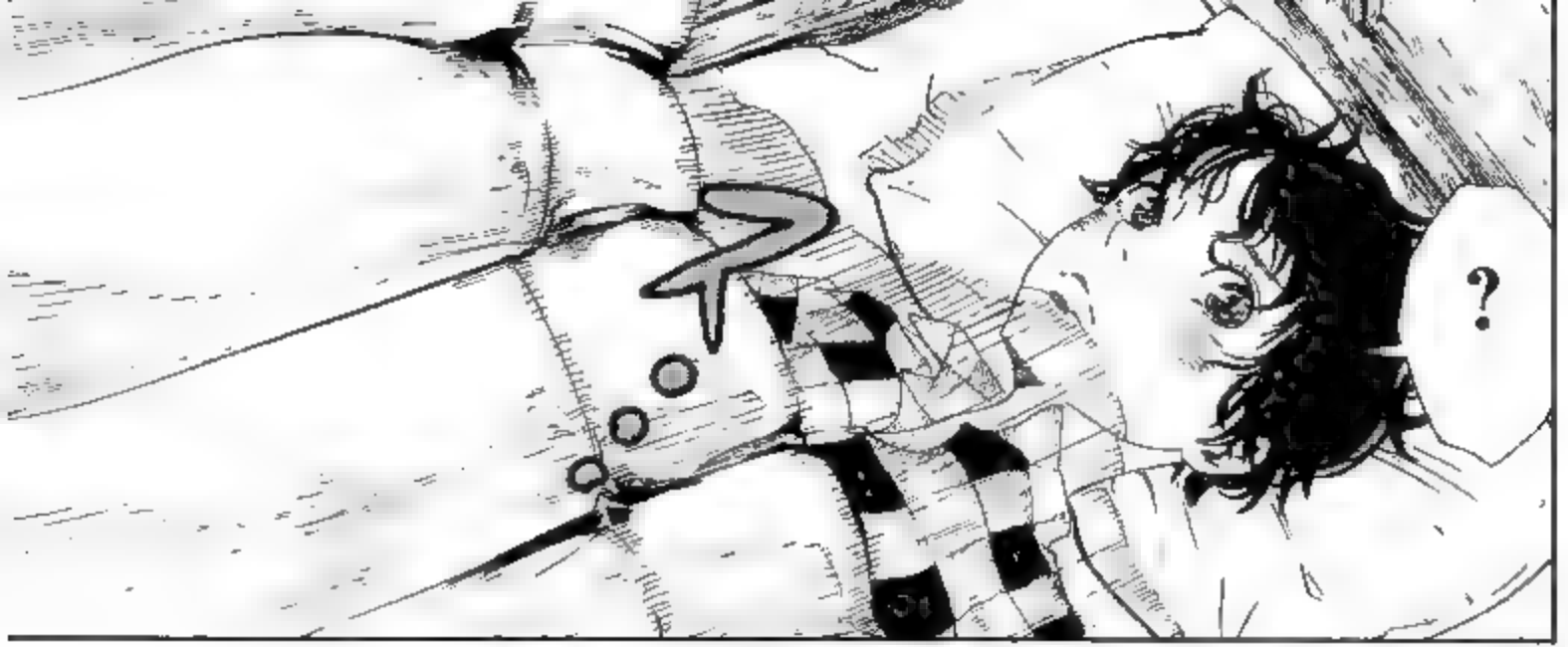
28



ベッドで
寝なさい！



ちゃんと、





私が倒れた時――

カベが、
うるさかったのは――

ジローを呼んで
くれてたんだ――

「なんでこんな面倒な思いを
してまで――」





それでもここに いたいから…かな？



後編

あいのあいだに

心離れていた人といふ
あいのあいだに
奇妙だけど温かな
この生活の行く末は……

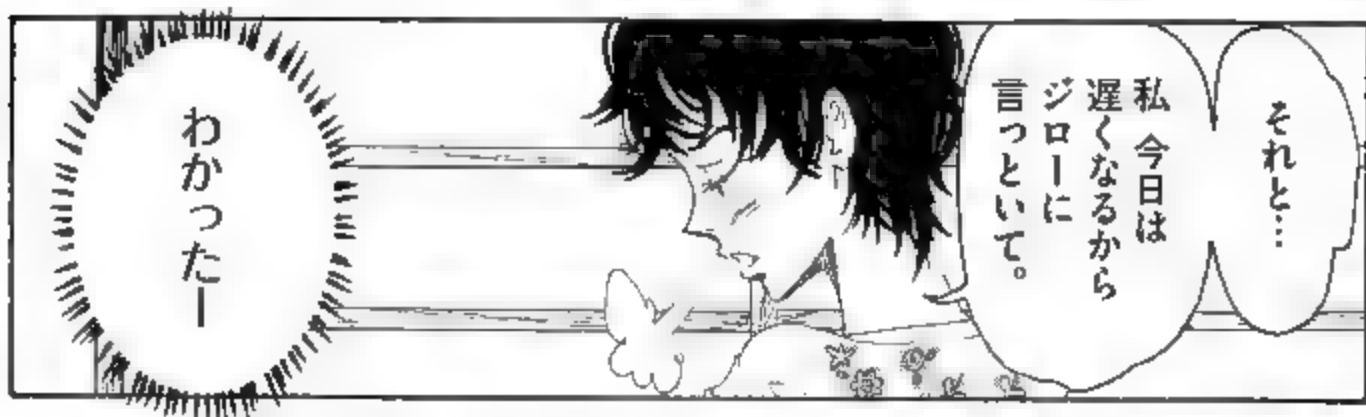
新魂
1

32

寺山マル




「こ」は普通の二軒家。パンツの色を無邪気に叫ぶこの声の正体は……



3





大と私の
部屋を
隔てる、

このカベ
だけです。

シホがねー



一年間の
家庭内別居が、
私達の会話を
ぎこちなくさせます。



シホのパンツ
あかだよ！

な
!!!

な…につ
言ってんのよ!!

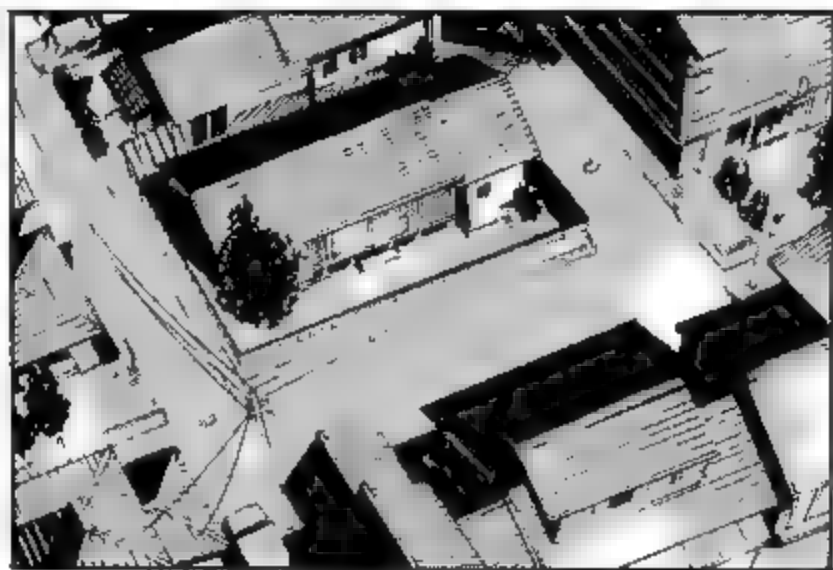
でも…

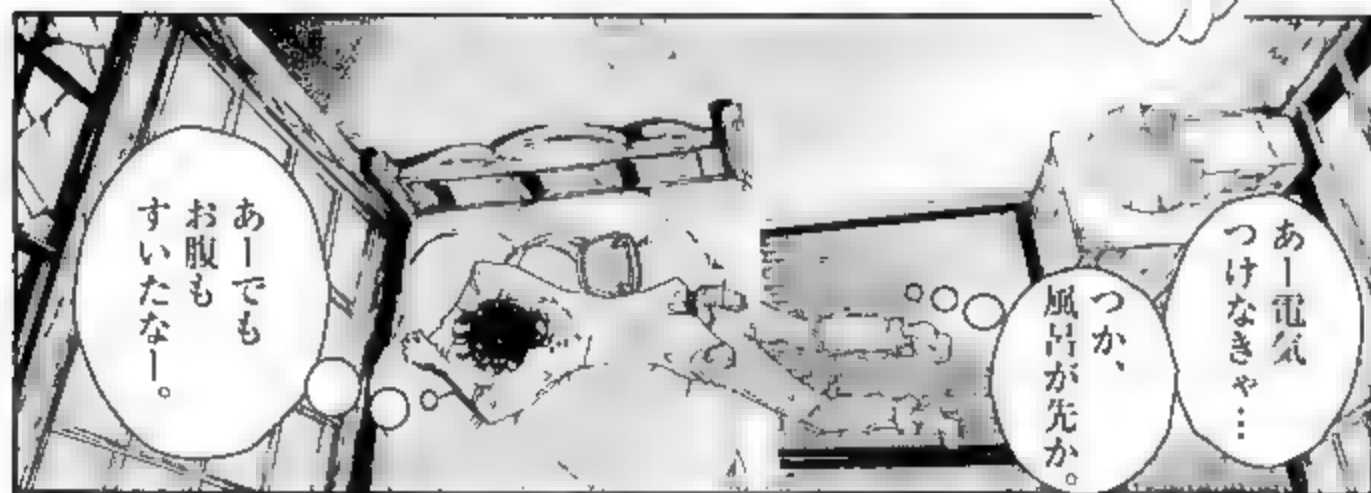
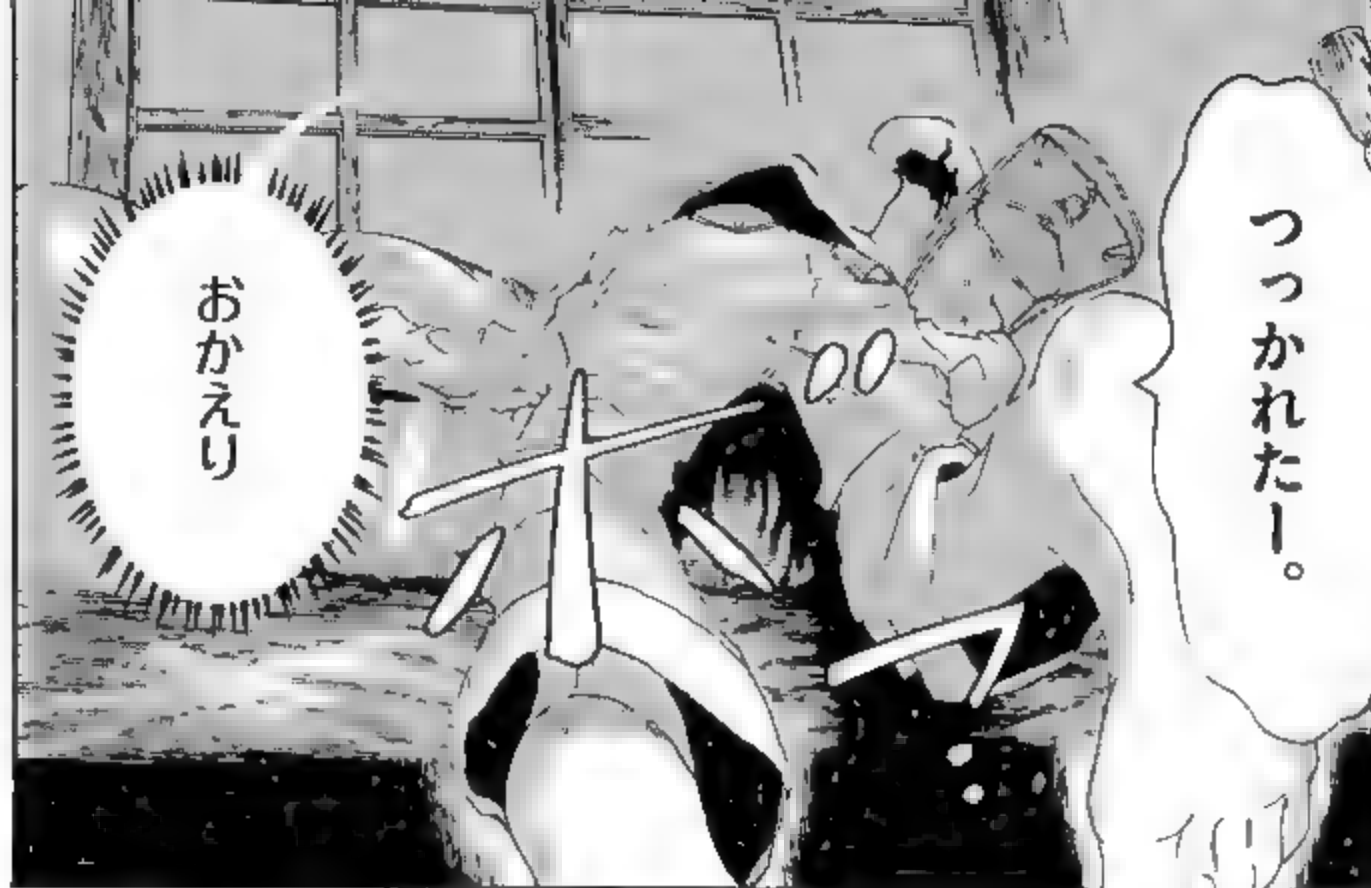
カベのことが
きっかけで、

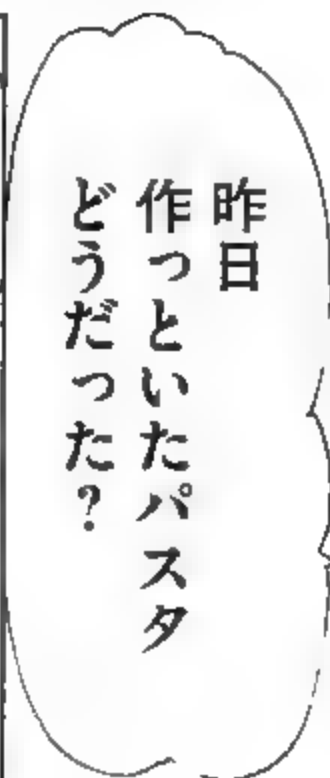
私達夫婦に
また会話が
生まれました。

一年ぶりの夫婦の会話は
少し気恥ずかしいけど、
少し嬉しい。

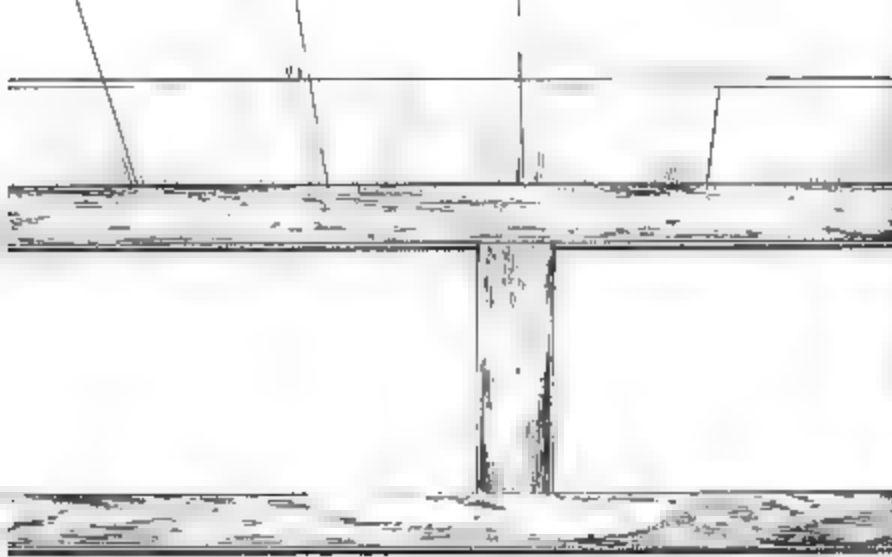
カベの
バリ！











そうね…

好きになったところ
でもあったんだ…



今日の夕飯は
パスタでいいよね！

それだけの
ことだよ！



ジローの…
この気にしないところが
私は嫌だった…

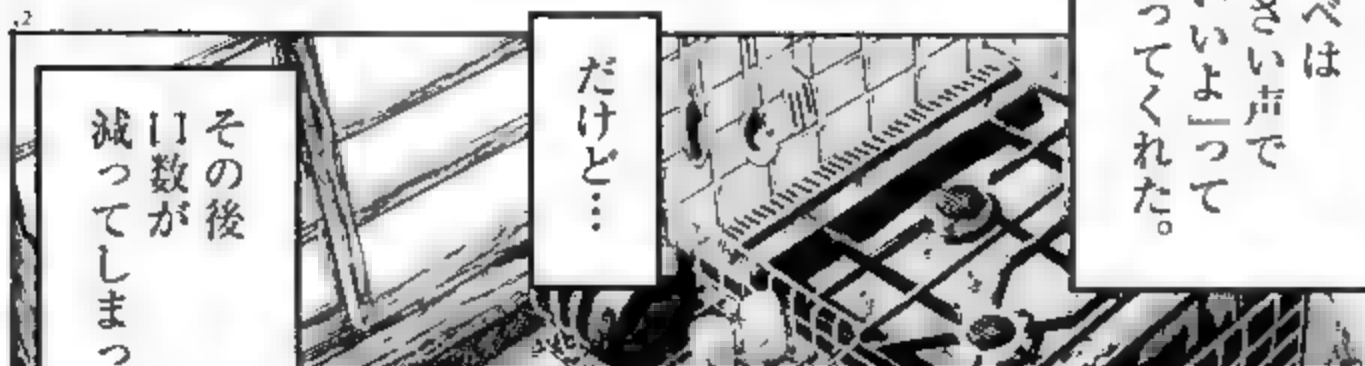
でも…最近…
思い出したよ…



カベ、

ごめんね！

カベは
小さい声で
「いいよ」って
言ってくれた。



だけど…

その後
人数が
減ってしまった。



まだ
気にしてるの？

んーん
だいじょうぶー

……





こわして

カベを...



なっ...



何言ってるの!!
まだ気にしてるの!!



そうよ！
気にしてるなら
いくらでも
謝るよ！！

じゃあ…なんて？！



ちがうよー



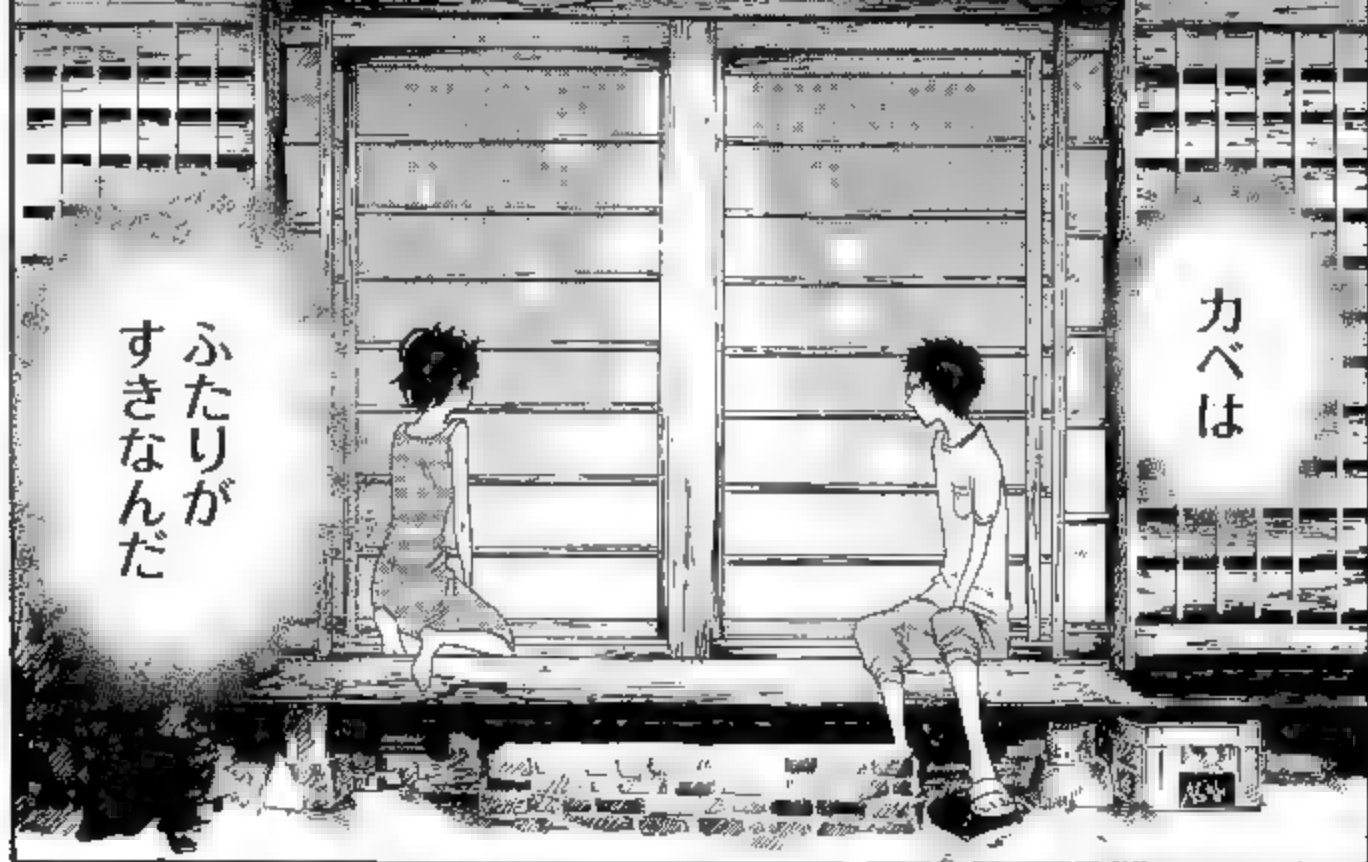
カベが
ふたりを
バラバラにする

ふたりのあいだに

カベは
ないほうがいい



カベは
ふたりから
うまれた



カベが言ったからって
壊すの!? ねえ!?

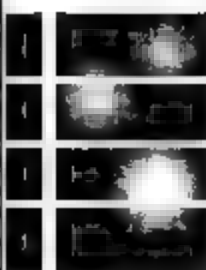
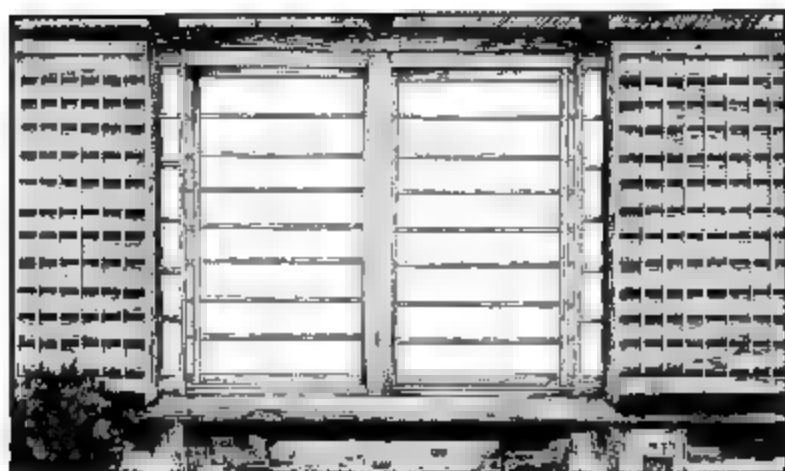
そんなの
関係ないわ!!

無責任じゃん、
適当に
考えないでよ!!

そーゆう
ところが…

嫌なのよ!!



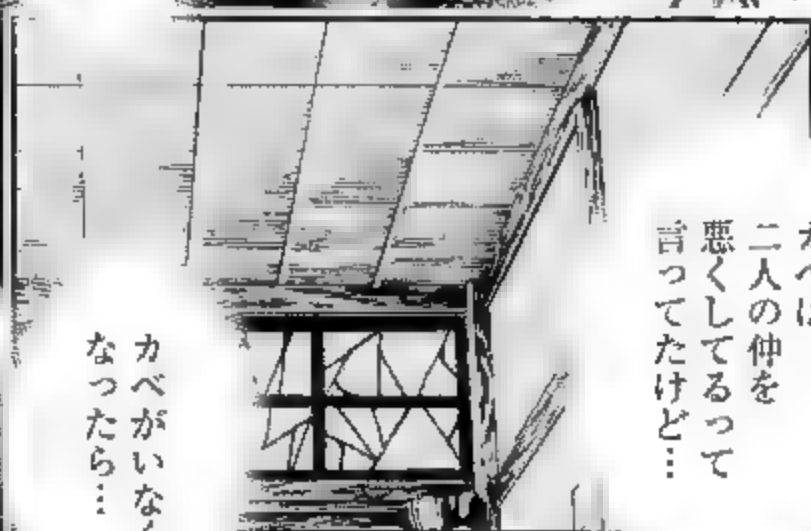


でも…



これが普通
だったんだなあ。

数日前
までは、




カベは
二人の仲を
悪くしてるって
言ってたけど…

カベがいなく
なったら…



また元通りに
なるだけじゃ
ないかな…？





ふたりのため
じゃないよ

カベのため
だよ――

このままじゃ
みんな……




かなしい……




シホ――



こんなことなら…



カベなんか
つくらなければ
よかった――



二人を
離してしまう、

だから……



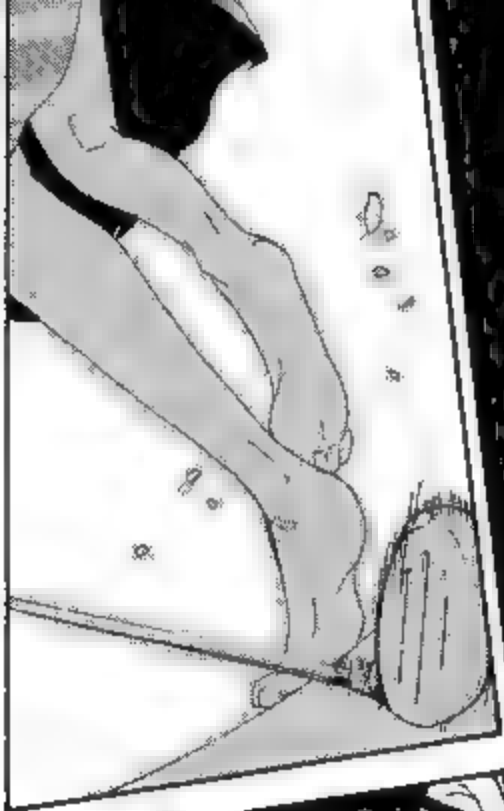
これで...



本当に
いいんだね?

カベ...





26



やっぱ
やめよう！

壊すの！！



ジロー！！



わかってる…
出来ないよね…



ああ…そうか、
今わかった気がする…

カベは私達を
引き離してなんか
いない…

私達を
前よりも
強く…

やさしく…

繋いで
くれたんだよ。



だから…

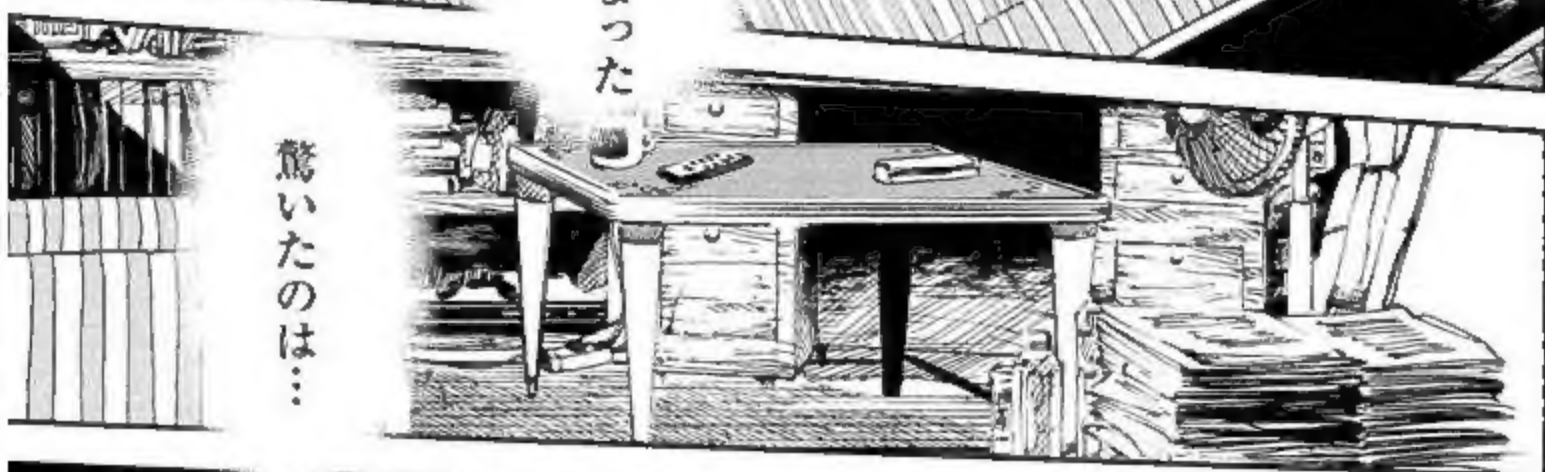


もう大丈夫——



そんなことを、
初めて入った
ジローの部屋で
考えていた――

昔とは
変わってしまった
元居間、

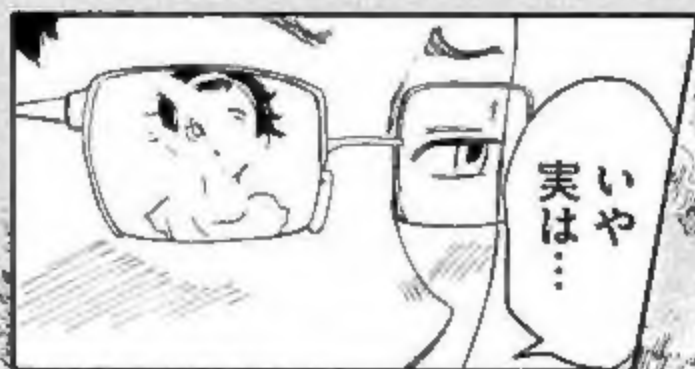


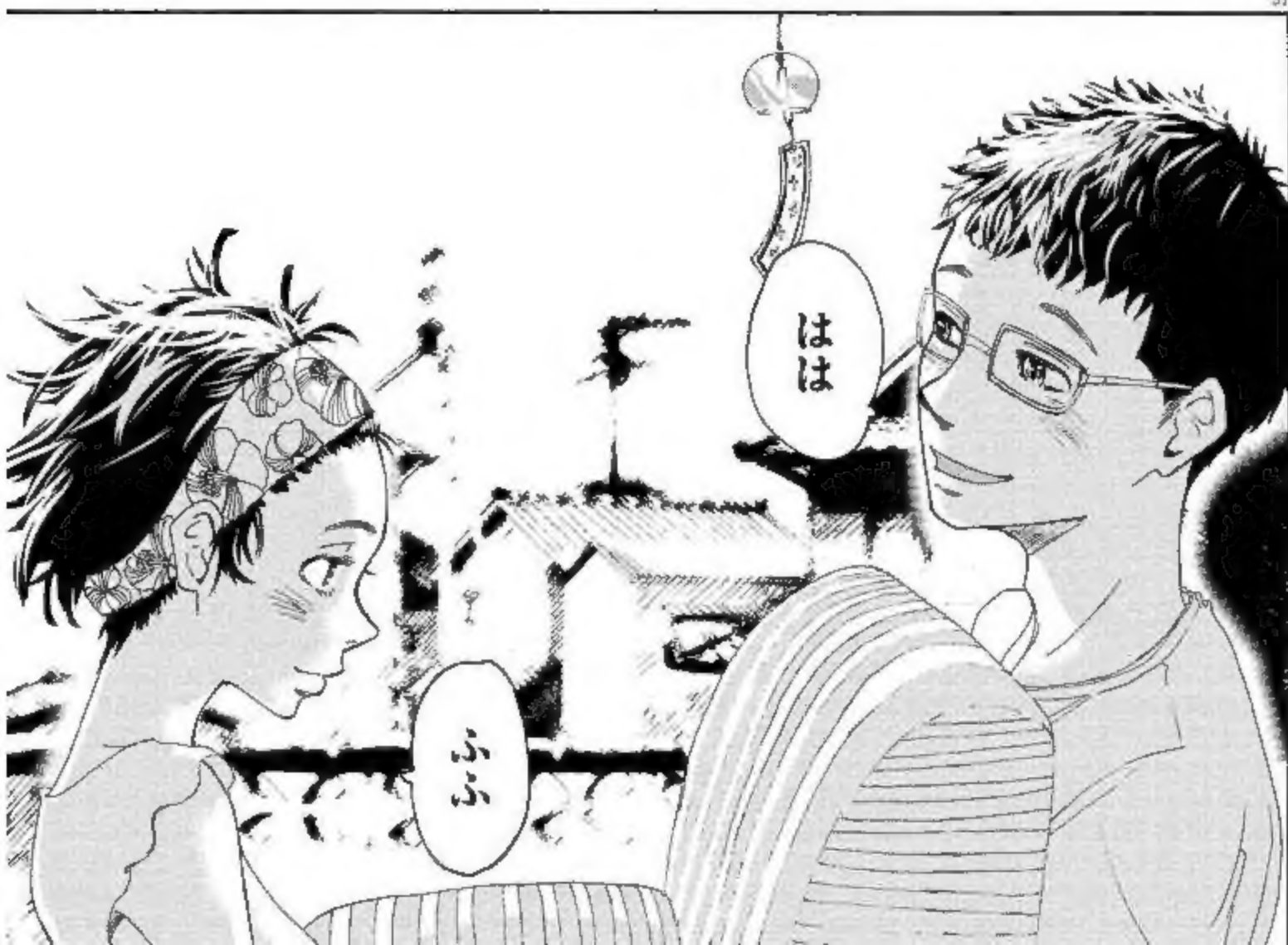
驚いたのは……



二人を
隔っていた壁に、

私の大きな写真が
飾ってあった
ことくらい……







●愛する三人を隔てたものこそ、もう一度強く三人を繋ぐ…
——寺山マル氏は次回作を構想中です。お楽しみに！

—完—